



日本共産党が目標突破!

戦争法（安保法制）廃止の2000万署名

ついに3000筆達成!

昨年11月3日から「戦争法（安保法制）廃止2000万署名」を市民から3000万筆集めようと取り組んできた日本共産党網走市委員会は、27日に目標の3000筆を達成しました。目標期日とした25日から2日遅れで3030筆になりました。



厳しい冬に向かい、又年末年始の忙しい時だけに本当に達成できるだろつかと不安もあつたと話す松浦市委員長は「党員はもちろん、後援会員、読者、支持者のみなさんにも大きなご協力をいただきました。中にはこれまでにみなさんが、署名を集めてくれていました。私たちも参加しているストップの会の目標をやり切り、これからも全国のみなさんと力を合わせ『廃止』まで頑張りたいと思います。」と話していました。

戦争させない・9条壊すな！
総がかり行動
実行委員会
より

「戦争法の廃止を求める2000万署名」は4月25日に集約した分を5月19日に国会に提出します。署名は引き続き6月30日まで継続します。

市民の思いが伝わる

熊本地震救援募金活動



日本共産党網走市委員会は、4月20日に街頭から募金を訴えたのに続いて、21日はツルハドレッジ網走北店、27日はベーシック橋北店前で募金活動を行いました。

それぞれ約1時間の募金活動でしたが、買い物に来た人たちは口々に「大変な地震だね。お金の毒で言葉がでません。私も暮らすが大変ですがお役に立ててください」

松浦奮戦も

衆議院5区の補欠選挙について、たくさんの方から「惜しかったね、残念だね。でも野党共闘の力が出たと思うよ」「あの町村王国の江別市」などの反響が寄せられています。

公示前は、自民党陣営はダブルスコアで圧勝するだろうといわれていましたが、野党共闘が実現し市民運動と一体となって選挙活動をすすめるなかで、大きく情勢が変わってきました。自民党は閣僚をはじめ国会議員、秘書など総動員の態勢で5区に乗りこんできたといわれています。それに対して野党と市民の運動は大きく広がり、公示後は池田候補が猛追、横一線と報道されるまで追われました。この成果を生かして、参院選で野党共闘を進めれば必ず勝てる確信した選挙戦だったと思います。

流水

▼先日、九州の知人と電話で安否を確認することができた。向こうも北海道の吹雪のことなど大変だねと逆に励まされた。

▼今は亡き明治生まれの姑は、母親のお腹にいた時に九州からこちらへ渡って来たと言っていた。初めて人類が月面着陸した時に、九州地方は豪雨で大洪水、家々が流される様子もテレビで見ているその時、姑はポツンと「人間が月に行ける時代にどうして洪水が防げないのか」と言っていた。▼それから何十年も経ち今回の九州地方の大地震が起きてしまった。それでも政府や九州電力は川内原発を止めようとしな。本気で国民のための防災をする気のない為政者では、いつまでたっても安全・安心の生活は望むべきもない。5兆円の軍事費を使う安倍政権、選挙のポスターの「自民は未来をつくる」などと書いて、いつまでも国民をだませると思っている。▼やっとな手にした選挙権、政治不信もあるだろうが棄権などしないほしい。平和で生きられる権利を無駄にしないために、もっと目を開き口を開いて、私達を守ってくれ大事な大事な憲法を改悪させない。